

第1学年 生活科 学習構想案

菊池市立泗水西小学校 教諭 大坂 亜紅

1 単元構想

単元名	「たのしい あき いっぱい」 （東京書籍「あたらしい せいかつ上 」 P. 6 2 ～ 7 7）		
単元の目標	○秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や季節の変化、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くことができる。 ○秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりすることができる。 ○秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとする。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①色や形、におい、手触りなど、秋と夏との自然の样子の違いや変化に気付いている。 ②葉や実など、秋の自然の特徴に気付いている。 ③いつも同じ現象が起こるなど、自然のなかに一定のきまりがあることに気付いている。 ④自分が遊びを創り出したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。	①幼児期や日常の経験を思い起こしたり、秋の自然の変化を予想したりして、夏の自然との違いを探している。 ②秋の自然のよさや特徴を生かしながら遊んだり、遊びに使う物を選んだりしている。 ③秋の自然と関わった活動を振り返りながら、自分なりの秋のおすすめを選び、伝えている。 ④様々な自然物を比べたり試したりしながら、材料を選び、おもちゃをつくらしている。	①季節の特徴や自然の変化に応じて、秋の遊びを楽しもうとしている。 ②季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、季節の遊びを楽しもうとしている。 ③秋の自然物を使って楽しく遊びたいという思いをもち、粘り強くおもちゃをつくらようとしている。 ④自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化に気付き、身近な自然を取り入れた遊びを工夫しながら創り出し、みんなと楽しんで活動しようとする児童			
単元を通した課題		本単元で働かせる見方・考え方	
身のまわりにある秋を見付け、秋を使ったおもちゃをつくり、みんなで遊ぼう。		身近な自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化に気付き、秋を使ったおもちゃを工夫してつくり、楽しみながら遊びを創り出すこと。	
指導計画と評価計画（21時間取扱い）			
過程	時間	学習活動	具体的評価規準 ★は、記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	3	○学習計画を立てる。 秋はどんな様子かな。 ○校庭で秋を探す。 ・どんぐりがあつた。 ・落ち葉がある。 ○夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話したり、記録カードに書いたりする。 ・落ち葉がたくさん落ちているよ。 ・どんぐりが落ちている。 ・風が冷たくなってきたね。	【思①】観察・発言 ○幼児期や日常の経験を思い起こしながら、秋の自然の特徴を探している。 ★【知①】ワークシート・発言 ○色や形、におい、手触りなど、秋と夏の校庭との自然の样子の違いに気付いている。
二	3	○学校の周りで秋を探す。 ・柿がある。 ・ススキがある。 ○校外での秋探して楽しかったことや気付いたことを話したり、記録カードに書いたりする。 ・柿がたくさんあったよ。 ・学校の外にもどんぐりがあるよ。 ・川沿いにはススキがありました。	★【思①】観察・発言 ○秋の自然の変化を予想しながら、夏の自然との違いを探している。 ★【知①】ワークシート・発言 ○身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。

三	3	秋のもので、どんな遊びができるかな。 ○秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをつくったりする。 ・落ち葉のカードをつくろう。 ・どんぐりごまをつくりたいな。 ・葉っぱや木の実で秋のお弁当をつくるよ。 ○遊びを振り返り、気付いたことを話したり、記録カードに書いたりする。	【思②】観察・発言 ○秋の自然のよさや特徴を生かしながら遊んだり、遊びに使う物を選んだりしている。 【主①】観察 ○季節の特徴や自然の変化に応じて、秋の遊びを楽しもうとしている。 ★【知②】ワークシート・発言 ○葉や実など、秋の自然の特徴に気付いている。
四	1	秋のおすすめは何だろう。 ○秋のおすすめを選び、友達と紹介し合う。	【思③】発表 ○秋の自然と関わった活動を振り返りながら、自分なりの秋のおすすめを選び、伝えている。 【主②】観察・発言 ○季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとしている。
五	6	○秋のおもちゃをつくる活動について話し合う。 ・どんぐりごまをつくりたいな。 ・まつぼっくりのマラカスも楽しそう。 ○見つけた葉っぱや木の実などを使って、おもちゃをつくる。 もっと楽しく遊べないかな。 ○つくったおもちゃで遊びながら、もっと楽しく遊べるようにつくり方や遊び方を工夫する。 ・どんぐりごまが良く回るように、爪楊枝を真中にさそう。 ・やじろべえは、まつぼっくりの重さを同じにした方がいいな。 ○「ミニおもちゃランド」を開き、みんなで遊びを楽しむ。	【知③】発言・観察 ○いつも同じ現象が起こるなど、自然のなかに一定のきまりがあることに気付いている。 ★【思④】観察・ワークシート ○様々な自然物を比べたり試したりしながら、材料を選び、おもちゃをつくらっている。 ★【主③】観察・発言 ○秋の自然物を使って楽しく遊びたいという思いをもち、粘り強くおもちゃをつくらうとしている。
六	5	保育園のみんなに楽しんでもらうには、どうしたらいいかな。 ○「おもちゃランド」で園児と一緒に遊ぶために話し合い、準備をする。 ・たくさんおもちゃをつくると、保育園児さんも飽きずに楽しめると思うよ。 ・遊び方の説明を考えよう。 ○「おもちゃランド」で園児と一緒に遊びを楽しむ。 ○おもちゃをつくったことや遊んだことを振り返り、記録カードに書く。	【知④】ワークシート・発言 ○自分が遊びを創り出したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。 ★【主④】観察・ワークシート ○自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所	
小学校学習指導要領 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容	内容（５）季節の変化と生活、（６）自然や物を使った遊び
教材・題材等の価値	
本教材は、身近な秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、遊びの面白さや自然の不思議さに気づき、自然を取り入れて生活を楽しくしようとすることに適している。	
本単元における系統	
就学前 落ち葉集め 落ち葉の布団 葉っぱの船づくり どんぐりゴマ まつぼっくりの装飾 1年「なつが やってきた」 夏の自然の特徴を見つけたり、遊びをしたりして、自然の様子に気づき、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとする。 1年「たのしい あき いっぱい」 秋の自然の特徴を見つけたり、遊びを工夫したりして、自然の様子や季節の変化に気づき、身近な自然を取り入れてみんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとする。 1年「ふゆを たのしもう」 冬の自然の様子を比べたり、遊びを工夫したりして、遊びの面白さ、自然の様子、生活の変化に気づき、身近な自然を取り入れて、自分の生活を楽しくしようとする。 2年生「うごく うごく わたしのおもちゃ」 身近にある物を使って、動くおもちゃをつくり、よりよく動くように改良したり、遊び方やルールを工夫したりして、遊びの面白さに気づき、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとする。	
児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）	
■本単元の学習に関する意識の状況	
調査内容	
生活科の学習は好きですか。 ・はい 7名 ・まあまあ 3名 ・いいえ 0名 【理由】 はい：わくわくするから。虫探しが楽しかったから。 まあまあ：ちょっと大変なこともあるし、楽しいこともあるから	
友達と活動することは好きですか。 ・はい 9名 ・まあまあ 1名 ・いいえ 0名 【理由】 はい：一緒にすると楽しいから。嬉しいから。 まあまあ：活動は好きだけど、自分の考えが通らない時があるから。	
秋といえば何ですか。 ・お芋（焼き芋） ・落ち葉 ・柿 ・栗 ・オレンジ色の葉っぱ ・長袖 ・気持ちよい風 等	
どんな時に秋を感じますか。 ・落ち葉があるとき ・栗を見た時 ・虫が鳴くとき ・葉っぱがオレンジ色や赤色の時 等	
秋の自然物（落ち葉、どんぐり、まつぼっくりなど）でどんな遊びをしたことがありますか。 ・落ち葉の布団 ・葉っぱの船づくり ・どんぐりゴマ ・まつぼっくりの装飾 等	
■考察 生活科の学習については、楽しく意欲的に活動できていることが分かる。また、友達と一緒に活動することも好意的に捉えている児童が多い。秋については、お芋や栗、落ち葉など、様子を理解していることが伺える。しかし中には、「雪」という返答もあり、秋と冬の季節の違いが曖昧になっている児童もいる。児童は、就学前に保育園等で秋の自然物を使ってまつぼっくりに装飾をしたり、どんぐりゴマで遊んだりしている。しかし、自ら考えておもちゃをつくる経験は少ない。本単元では、秋の季節のよさを感じるとともに、秋の自然物を使ったおもちゃを考え、友達と一緒に楽しんで創り出す活動を設定したい。	

3 指導に当たっての留意点

- 夏の校庭探検のときの写真や記録カードを振り返り、四季の変化や秋の自然の様子に気付けるようにする。
- 校庭や校区で秋の自然物を探す時間や、遊びを楽しめる時間を十分に確保する。
- おもちゃを制作する際は、安全につくったり、遊んだりできる環境を整えるとともに、試行錯誤できる時間や場を確保する。
- 「おもちゃランド」では、園児の立場になって学級で遊ぶ時間を設定することで、相手意識をもって遊びを考え、よりよいものを創り出そうとする意欲を高める。

4 ESDとの関連

(1) 本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

- 多様性・・・四季によって自然の様子が異なり、様々な葉や木の実、虫がいることに気づく。
- 責任性・・・秋のおもちゃを最後まで粘り強くつくり、自分の役割を果たす。

(2) 本学習で育てたいESDの資質・能力

- コミュニケーションを行う力
どんな遊びができるか話し合ったり、保育園児に分かりやすく遊びの説明をしたりする。
- 他者と協力する態度
自分のつくったおもちゃを紹介したり、つくったおもちゃを改良したりすることを通して、よりよいものになるように友達と協力する。

(3) 本学習で変容を促すESDの価値観

- 自然環境・生態系の保全を重視する。
身のまわりの自然をこれからも大切にする。
- 幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。
身近な自然の豊かさを実感し、郷土の自然の恵みに喜びを感じるとともに、友達と関わることを通して、自分の存在や成長に気づく。

(4) 達成が期待されるSDGs

15 陸の豊かさを守ろう